

広島県内中小企業 景況調査結果

建設業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年10月～12月期 実績
平成16年1月～3月期 見通し

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成15年12月5日
(2) 調査対象期間 平成15年10月～12月期 実績
平成16年1月～3月期 見通しについて調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金1億円以下、又は従業員300人以下の企業、小売業、サービス業については、資本金1千万円、又は従業員50人以下の企業を対象とした。

3. 調査方法

原則として、商工会(県内14)、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し聴き取りによって行った。

4. その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加(上昇、好転、長期化)企業割合と減少(低下、悪化、短期化)企業割合の差を示すものである。

II. 建設業の景気動向

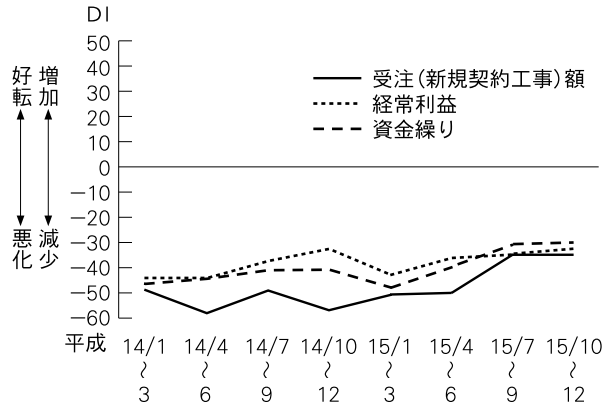
1. 概況(前年同期比)

業況は好転傾向。

平成15年10月～12月期の業況を概観すると、前年同期と比べた受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りとも好転した企業が増加、好転傾向にある。

【DI値】受注(新規契約工事)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示し、依然として、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 10月～12月期の動向

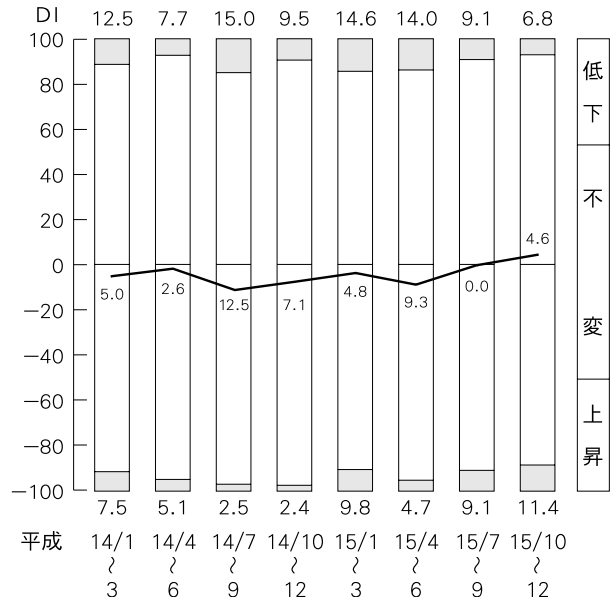
(1) 受注(新規契約工事)額はやや増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の受注(新規契約工事)額の増減状況については、増加した企業が15.9%、減少した企業が50.0%となり、DI値はマイナス34.1となり、前年同期に比べ増加している。

(2) 材料仕入単価は増加(前年同期比)

前年同期と比べた今期の材料仕入単価については、上昇した企業11.4%、低下した企業6.8%、不変81.8%となっている。

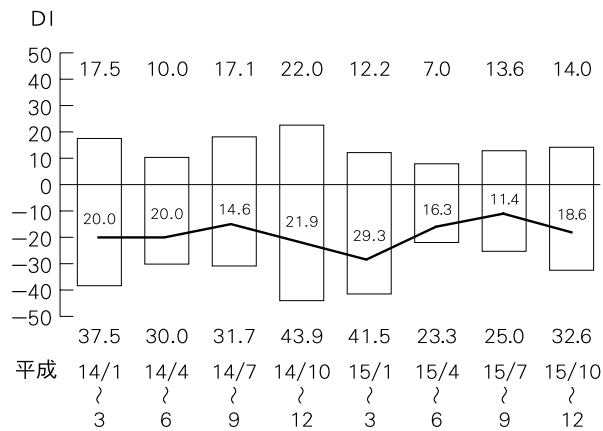
材料仕入単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益は減少(今期)

今期の経常利益の状況は、増加14.0%、減少32.6%で、DI値はマイナス18.6となり、前期のDI値マイナス11.4と比較して悪化している。

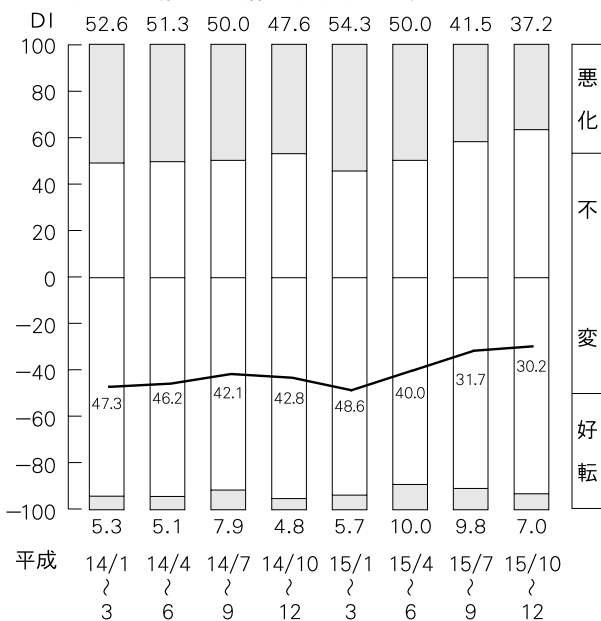
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは好転傾向(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業7.0%、悪化した企業37.2%、DI値はマイナス30.2%とマイナスとなっているが、前年同期と比べ好転傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 1～3月期の見通し

業況はやや改善

今期と比べた来期の見通しについてみると、受注(新規契約工事)額、経常利益ともに、やや改善傾向を示しているが、資金繰りは悪化傾向にある。

建設業 主要項目の来期の見通し

項目	10～12月期	1～3月期
受注額		DI -25.0
経常利益		DI -36.4
資金繰り		DI -27.3
業況		DI -31.0

建設 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 10～12月期	官公需要の停滞 (39.5%)	民間需要の停滞 (23.7%)	請負単価の低下難 (18.4%)
平成15年 1～3月期	官公需要の停滞 (41.0%)	民間需要の停滞 (25.6%)	請負単価の低下難 (17.9%)
平成15年 4～6月期	官公需要の停滞 (42.9%)	民間需要の停滞 (26.2%)	請負単価の低下難 (19.0%)
平成15年 7～9月期	官公需要の停滞 (31.6%)	民間需要の停滞 (23.3%)	請負単価の低下難 (21.1%)
平成15年 10～12月期	官公需要の停滞 民間需要の停滞 (30.0%)	請負単価の低下難 (22.5%)	材料費・人件費以外の経費の増加 (5.0%)

広島県内中小企業景況調査結果

製造業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年10月～12月期 **実績**
 平成16年1月～3月期 **見通し**

Ⅲ. 製造業の景気動向

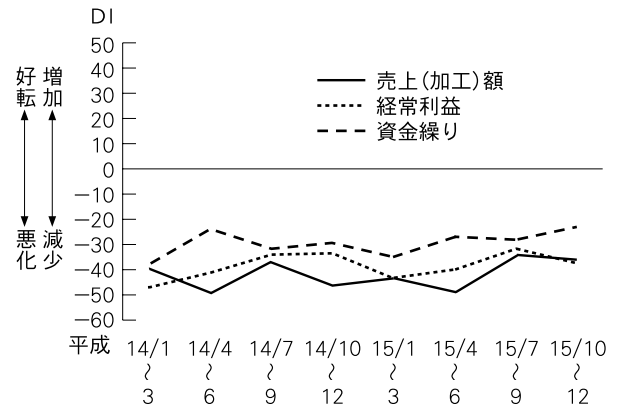
1. 概況(前年同期比)

業況はやや改善。

平成15年10月～12月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上(加工)額、資金繰りともに上昇しているものの、経常利益は微減である。全体としては業況はやや改善傾向にある。

【DI値】売上(加工)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



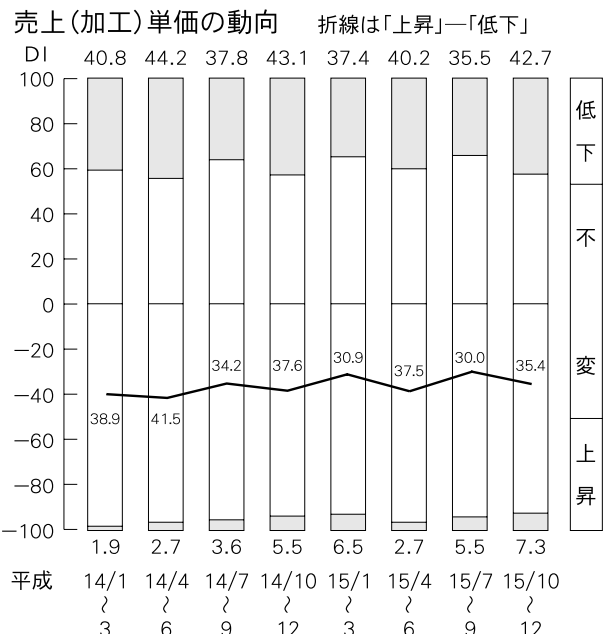
2. 10月～12月期の動向

(1) 売上(加工)額は好転傾向(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(加工)額の増減状況については、増加した企業が18.9%、減少した企業が55.0%となり、DI値はマイナス36.1%となり、依然停滞している。

(2) 売上(加工)単価は増加(前年同期比)

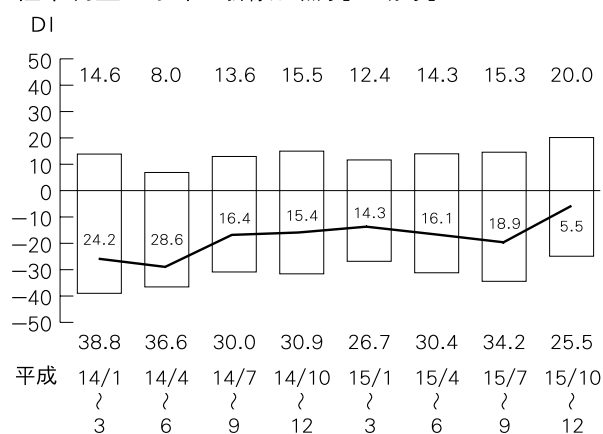
前年同期と比べた今期の売上(加工)単価については、上昇した企業7.3%、低下した企業42.7%、不変50.0%となっている。DI値は2.2ポイント減少している。



(3) 経常利益は好転傾向(今期)

今期の経常利益の状況は、増加20.0%、減少25.5%で、DI値はマイナス5.5となり、前期のDI値マイナス18.9と比較して13.4ポイント増加している。

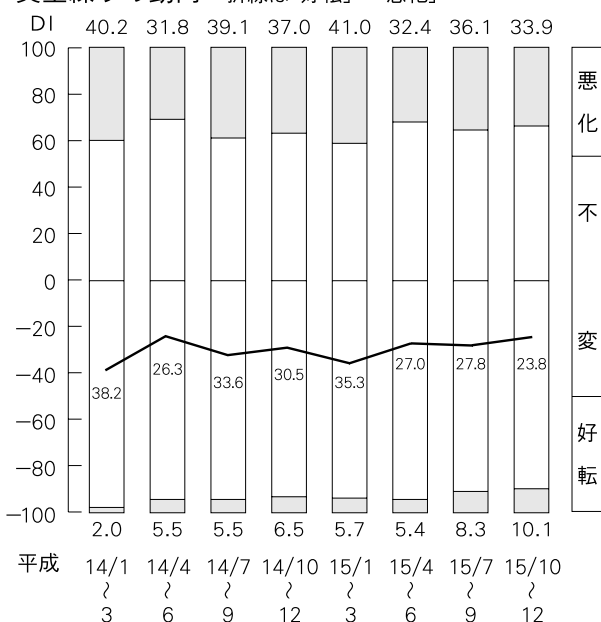
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは微増(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業10.1%、悪化した企業33.9%となっており、DI値はマイナス23.8と改善傾向を示している。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 1月～3月期の見通し

業況悪化傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上(加工)額、経常利益、資金繰りともに微増傾向にあるものの、来期の業況はやや悪化との判断を示している。

製造業 主要項目の来期の見通し

項目	10～12月期	1～3月期
売上額		DI -21.8
経常利益		DI -26.9
資金繰り		DI -18.5
業況		DI -25.0

製造 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年 10～12月期	需要の停滞 (43.6%)	加工単価の低下難 (21.8%)	大企業の進出による競争の激化 (10.9%)
平成15年 1～3月期	需要の停滞 (35.6%)	加工単価の低下難 (25.7%)	製品ニーズの変化への対応 大企業の進出による競争の激化 (7.9%)
平成15年 4～6月期	需要の停滞 (44.3%)	加工単価の低下難 (24.5%)	製品ニーズの変化への対応 (5.7%)
平成15年 7～9月期	需要の停滞 (35.9%)	加工単価の低下難 (25.2%)	製品ニーズの変化への対応 (13.6%)
平成15年 10～12月期	需要の停滞 (34.6%)	加工単価の低下難 (23.1%)	取引条件の悪化 (5.8%)

広島県内中小企業景況調査結果

小売業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年10月～12月期 **実績**
 平成16年1月～3月期 **見通し**

IV. 小売業の景気動向

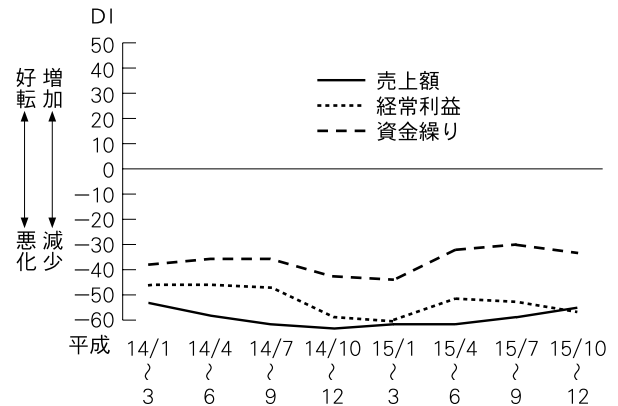
1. 概況(前年同期比)

業況は好転傾向。

平成15年10月～12月期の業況を概観すると、前年同期と比べ、資金繰り、売り上げ、経常利益はともに好転傾向である。

【DI値】売上額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では依然停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 10月～12月期の動向

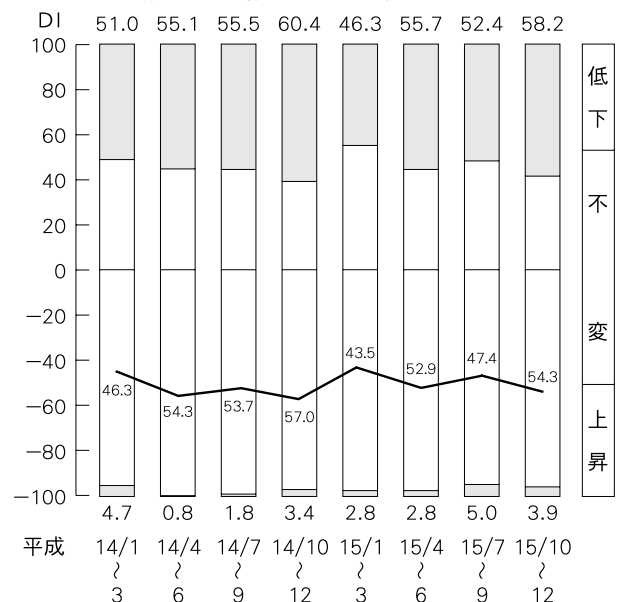
(1) 売上額は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上額の増減状況については、増加した企業が6.8%、減少した企業が62.1%、DI値はマイナス55.3となっている。

(2) 客単価は微増(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業3.9%、低下した企業58.2%、不変37.9%となっておりやや増加している。

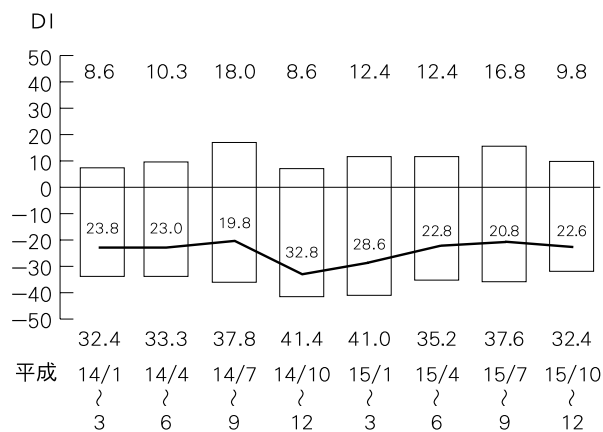
客単価の動向 折線は「上昇」―「低下」



(3) 経常利益はやや減少(今期)

今期の経常利益の状況は、増加9.8%、減少32.4%で、DI値はマイナス22.6となり、前期のDI値マイナス20.8と比較して1.8ポイント減少しておりやや減少傾向にある。

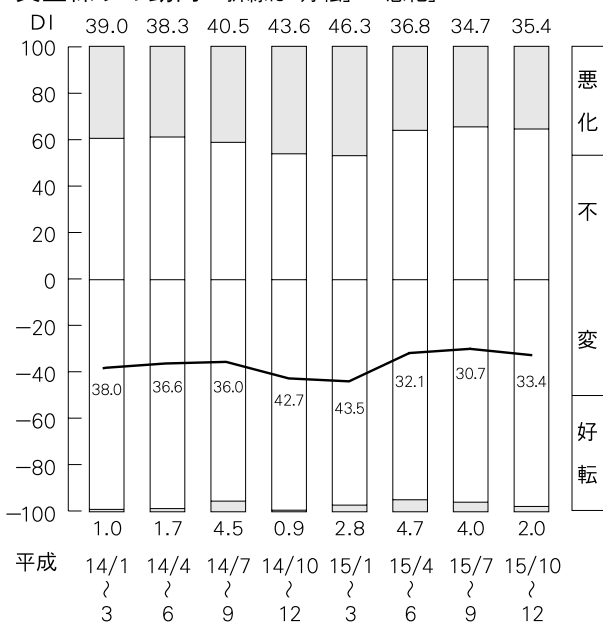
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りはやや改善(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業2.0%、悪化した企業35.4%、DI値はマイナス33.4とやや改善傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 1月～3月期の見通し

業況はやや悪化傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りともに、やや減少傾向を示しており、業況は厳しい。

小売業 主要項目の来期の見通し

項目	10～12月期	1～3月期
売上額		DI -51.4
経常利益		DI -45.6
資金繰り		DI -36.0
業況		DI -54.4

小売 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年10～12月期	需要の停滞(32.7%)	大・中型店の進出による競争の激化(22.1%)	購買力の他地域への流出(18.6%)
平成15年1～3月期	需要の停滞(28.4%)	大・中型店の進出による競争の激化(20.2%)	購買力の他地域への流出(14.7%)
平成15年4～6月期	需要の停滞(26.2%)	購買力の他地域への流出(18.4%)	大・中型店の進出による競争の激化(17.5%)
平成15年7～9月期	需要の停滞(32.0%)	大・中型店の進出による競争の激化(17.5%)	販売単価の低下難(12.4%)
平成15年10～12月期	需要の停滞(26.8%)	大・中型店の進出による競争の激化(23.7%)	購買力の他地域への流出(16.5%)

広島県内中小企業景況調査結果

サービス業の景気動向

広島県商工会連合会

平成15年10月～12月期 **実績**
平成16年 1月～3月期 **見通し**

V. サービス業の景気動向

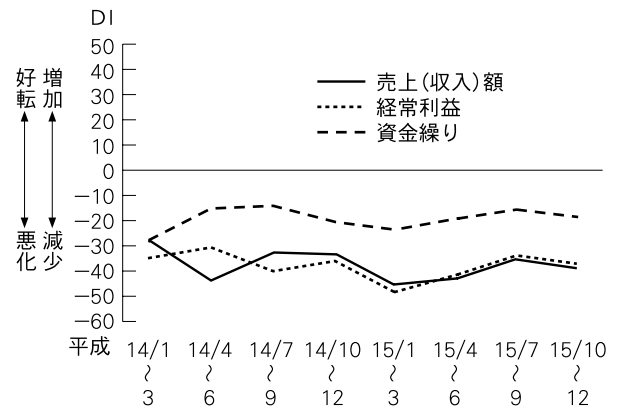
1. 概況(前年同期比)

業況は悪化。

平成15年10月～12月期の業況を概観すると、前年同期と比べ資金繰りは、やや改善されているものの、売上げ、経常利益は減少しており、全体として悪化傾向にある。

【DI値】売上(収入)額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下で停滞している。

主要項目の動向(前年同期比)



2. 10月～12月期の動向

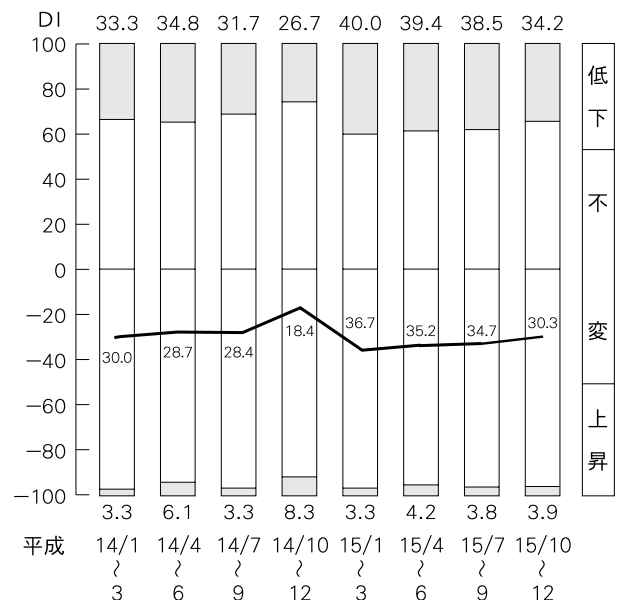
(1)売上(収入)額は微減(前年同期比)

前年同期と比べた今期の売上(収入)額の増減状況については、増加した企業が13.0%、減少した企業が51.9%、DI値はマイナス38.9となっており、減少傾向にある。

(2)客単価は低下(前年同期比)

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業3.9%、低下した企業34.2%、不変61.9%となっており、低下傾向にある。

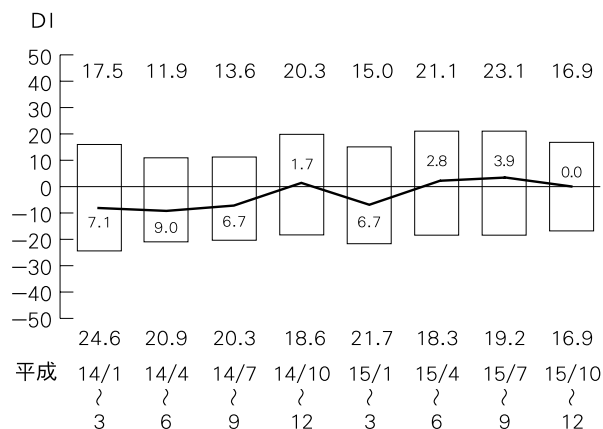
客単価の動向 折線は「上昇」-「低下」



(3) 経常利益は微減(今期)

今期の経常利益の状況は、増加16.9%、減少16.9%で、DI値は0.0となり、前期のDI値プラス3.9と比較して3.9ポイント減少し、前期に比べ、今期は減少傾向にある。

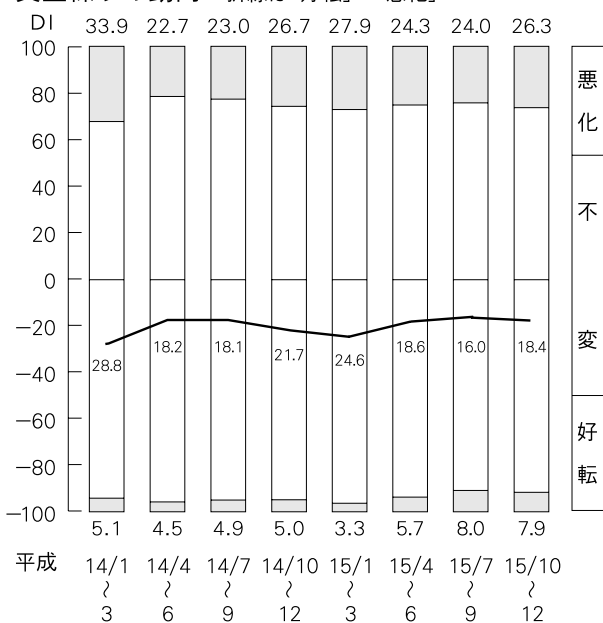
経常利益の水準 折線は「黒字」―「赤字」



(4) 資金繰りは微増(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業7.9%、悪化した企業26.3%、DI値はマイナス18.4とマイナスを示しているが、増加傾向にある。

資金繰りの動向 折線は「好転」―「悪化」



3. 1月～3月期の見通し

業況は悪化傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りとも悪化を予想する企業が多く、悪化傾向を示している。

サービス業 主要項目の来期の見通し

項目	10～12月期	1～3月期
売上額		DI -31.6
経常利益		DI -27.6
資金繰り		DI -21.0
業況		DI -30.7

サービス 直面している経営上の問題点

期別順位	1位	2位	3位
平成14年10～12月期	需要の停滞(42.9%)	利用者ニーズの変化への対応(23.2%)	店舗施設の狭隘・老朽化(8.9%)
平成15年1～3月期	需要の停滞(46.3%)	利用者ニーズの変化への対応(20.4%)	店舗施設の狭隘・老朽化 新規参入業者への増加(7.4%)
平成15年4～6月期	需要の停滞(49.2%)	利用者ニーズの変化への対応(12.3%)	利用料金の低下難(9.2%)
平成15年7～9月期	需要の停滞(41.1%)	利用者ニーズの変化への対応(23.3%)	利用料金の低下難(9.6%)
平成15年10～12月期	需要の停滞(38.6%)	利用者ニーズの変化への対応(17.1%)	新規参入業者の増加(11.4%)